

2025 年 11 月 4 日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社トレミールに「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、株式会社トレミール（代表取締役：茶谷 幸司）に「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を実施いたしました。

「SMBC 社会課題解決推進支援融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：内川 淳）が、企業の社会課題解決に向けた取り組み状況を確認した上で、①組織の社会課題への取り組み姿勢等に対する所見と、②ロジックモデル（事業活動を通じた社会課題への道筋が見える化したもの）の仮説を提示し、今後の取り組み推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、株式会社トレミールについては、以下に記す事業を通じた社会課題解決について、取組推進に向けたアドバイス等を提供しました。

① 防災見守りアプリや災害用通信機器シェアリングサービスの提供による減災・防災への貢献

事業内容	防災/子ども老人みまもりアプリ「とれみる」や災害用通信機器シェアリングサービス「DIP-BOX」など、災害時と日常の両場面で従業員やその家族の位置情報を共有するサービスを提供されています。
当該事業を通じて解決を目指す社会課題	減災、防災、復興支援体制の構築
社会課題解決への貢献内容	災害時には被災者、平常時には高齢者や子どもの位置情報や安否を家族が確認できるアプリを提供することで、安全・安心な暮らしを支えておられます。また、低コストで通信機器の利用を可能にするシェアリングサービスを整備し、減災・防災・復興支援に貢献しておられます。

（参考）社会課題概要

近年、自然災害が激甚化・頻発化しています。災害による被害を軽減するため、防災・減災インフラ等の整備が進められてきましたが、老朽化による被害も懸念されています。災害への事前の備えとしては、ハード面の整備に加え、日頃からの訓練や防災意識向上など、ソフト面の対策も必要です。また、少子高齢化に伴い、災害発生時・発生後の高齢者のケアが課題となっています。

② 環境配慮型スマートフォンケースの開発を通じた廃棄物の削減

事業内容	植物由来素材や100%リサイクル素材を使用した環境配慮型スマートフォンケースを国内で開発・製造し、商品化されています。
------	---

当該事業を通じて 解決を目指す 社会課題	廃棄物の削減や適切な処理
社会課題解決 への貢献内容	未利用植物資源を原料とした植物由来素材や、100%リサイクル素材を使ったスマートフォンケースの開発を通じて、廃棄物の削減に貢献しておられます。また、石油由来素材を植物由来素材に代替することで、サプライチェーン全体のCO2排出量を抑え、気候変動の緩和に寄与しておられます。

（参考）社会課題概要

国内では年間約 4 千万 t の一般廃棄物、約 3 億 8 千万 t の産業廃棄物が排出されていますが（2022 年度）、廃棄物処理施設の老朽化や、地域の人口減少・高齢化に伴う担い手不足により、持続可能な廃棄物処理体制の構築が課題となっています。一方、日本の一般廃棄物リサイクル率は 19.6% であり（2022 年度）、計算方法の違いを差し引いても欧州各国より低い状況です。またリサイクル率は 10 年以上伸び悩んでいます。

株式会社三井住友銀行では、「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を通じて、お客さまの幅広い社会課題解決に向けた取組を支援することで、お客さまとともに社会的価値創造の好循環を生み出す取組を推進してまいります。



とれみる

子供・高齢者の見守りや家族防災に使える
フェーズフリーな位置共有アプリ「とれみる」



DIP BOX

災害用通信インフラを「安価・手間無く・必要な時だけ」利用することが出来るシェアリングサービス「DIP-BOX」



環境配慮型スマートフォンケース

国内の工場と連携し、環境配慮素材を使用したスマートフォンケースを作製。未利用植物資源を原料とした植物由来の素材を使用し、石油由来素材の使用量を削減している。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】
法人戦略部 サステナブルソリューション室
TEL : 03-4333-6965

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。